

平成26年度 学校評価実施報告書

(別添様式3)

3 2回目評価

学校名(砂川小学校)

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					自己評価		学校関係者評価			
・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理					評価日	平成26年3月5日		評価日	平成26年3月13日	
					評価者・組織	職員会議		評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員	
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策	学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策		
1	確かな学力	基礎基本の徹底、活用力の向上 言語活動の充実、コミュニケーション力の学校図書館の活用と読書活動の充実	1人1回の公開授業、年4回の授業研究、計算タイムの充実 各教科での言語活動のさらなる充実、場面場面での言葉の指導 50冊ハーフマラソン表彰、団体貸し出しの利用、朝読書	家で宿題や家庭学習はできていますか、状プロの結果 友達と協力して学習ができていますか 自分から進んで読書をしていますか	ジョイントプログラム・プレジョイントプログラム全市平均と児童回答前期より1.3ポイントアップ ⇒ 児童回答前期より1.3ポイントアップ	児童・保護者とも「授業はよくわかっている」と思っている。しかし、「習ったことが身に付いている」と考える割合は、減る。読書については、貸出し数や100冊マラソン達成人数は増えているが、内容を考え	⇒ ・時間が経つと忘れてしまうので、繰り返し練習すようにさせる。実生活で使えるように授業の組み立てを考える。 ・読書については、取組の内容を見直していく。	⇒ ・言葉遣いやマナーなどは、保護者も考える必要がある。 ・保護者にも本に興味を持ってもらい、「読書は大切だ」という認識を持ってもらう必要がある。	⇒ ・読書の習慣化については、対象を保護者にも広げ、読書活動委員会と連携を図る。	
2	豊かな心	豊かな体験活動 適切な児童理解・実態の把握 異年齢集団の活動の充実	PTA/地域行事の参加、土曜学習の参加 問題行動の早期発見・早期対応、生活アンケートの実施・分析 児童会活動の充実	PTAや地域の行事に参加していますか 帰ってからしたこと、ゲームをした時間 グループ活動、スマイル遠足、秋の大運動会の感想	児童回答68.9%、100冊読書マラソン達成144名(約30%) PTA・地域行事参加54.8%、昨年と変わらず スマイル活動で+目合っている姿がほほえましい(学運協)	⇒ ・PTAや地域行事に参加しているという回答は減っているが、実際の参加人数は増えている。異年齢集団の活動を通して思い合う気持ちが強まっている。	⇒ ・体験したことを知恵と変えていくプロセスを取り入れる。 ・多くの経験から他を思いやる気持ちが育っている。異年齢集団活動を続けていきたい。	⇒ ・携帯を持つ児童が増えているのではないかと。いろいろな事件があるので、使い方の指導が必要。 ・異年齢集団の活動を見ているとほほえましい。	⇒ ・学校運営協議会として、PTA・地域行事に参加し、サポートを続ける。 ・地域の大人として児童の言動をしっかり聞き、指導もしていく。	
3	健やかな体	基本的な生活習慣の育成 体力の向上	生活がんばり週間の実施(年3回)、生活アンケートの実施分析 部活動(運動部)の参加状況、体力テストの結果分析	起きる時刻・就寝時刻、朝ご飯 運動部の種類、運動部の参加状況	起床時刻7時まで6割就寝時刻学年が上がるにつれて遅い 運動部9種類 運動部参加率93%(昨年より退部者減)	⇒ 基本的な生活習慣の啓発は、保健指導や学習でしているので、関心は高まった。	⇒ ・運動することについては、興味もあり、熱心に活動している。 ・基本的な生活習慣は、家族で夜型という家庭もあるので、啓発を続け	⇒ ・運動が苦手な児童も興味を持ってできる部があつていいと思う。 ・生活習慣は、親自身見直しが必要。	⇒ ・保護者に接する機会もあるので、保護者の先輩として、伝えるべきことを伝えていく。	
4	独自の取組	小中一貫教育の推進 適切な児童理解・実態把握 情報発信の充実	小中合同研修会(年2回)、吹奏楽のタペ、部活動体験、オープンスマイル(校長)面談 積極的なHPの更新	小中合同研修会、小中合同主任会 学校は楽しいですか、自分のことが好きですか 学校は、各おたよりやHPで学校の様子を伝えていきますか	小中合同研修会年3回教務・生徒指導主任会月1回 楽しいとの回答93.4%自己肯定感(自分のことが好き)伝えている約97%、平成26年度アクセス数55601件	⇒ ・小学校と中学校の違いが分かり、お互いを理解し合った上で、9年間を通した児童生徒の育ちが話し合えるようになった。HPのアクセス数は、1日150件以上になった。	⇒ ・中学校との交流を深める中で先を見越し「今何が必要か」を考え、指導する。 ・HPだけでなく、伝達方法の改善を図る。	⇒ ・校長先生と子どもが直接話せる機会があるのはいいことだ。続けてほしい。 ・アクセス数がとても増えていると思う。	⇒ ・学校運営協議会としても「9年間で子どもを育てる」という意識を持って、学校と協働するようにしていきたい。	

4 総括・次年度の課題

・あいさつ運動については、学校運営協議会方いただいたご意見「地域を巻き込んだ取組」や「家庭での奨励」等、新たな視点を加えて、指導法を工夫していきたい。
・言葉遣いについては、子どもに言うだけでなく、大人が実行し「大切なことだ」ということや「必要なことだ」ということを理解させたい。
・学校運営協議会の各委員会は、それぞれ各自で活動を計画し実施しているが、学校運営協議会として一つにまとまり、学校をサポートしていきたいというご意見もいただいた。